

海外安全対策情報（令和８年度第２四半期）

１ 社会・治安情勢

- （１） パラナ州公安局発表の犯罪資料報告によると、パラナ州における２０２５年の殺人事件の発生件数は１，１８３件（前年比２７．０％減）、クリチバ市は１８５件（前年比６．９％増）。クリチバ市の人口１０万人あたりの殺人件数は１０．１件で、日本の０．７９件を大きく上回る。
- （２） パラナ州における２０２５年の麻薬（コカイン、クラック、オキシ、大麻等）の密輸・密売罪の検挙件数は、１３，９３４件（前年比４．１％増）、麻薬所持・使用罪の検挙件数は、１２，４２２件（前年比１２．９％減）であった。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- （１） クリチバ市及びその周辺都市においては、銀行、住居、店舗、レストラン等を狙った武装強盗のほか、車両強盗や長距離及び路線バスに対する強盗事件が昼夜問わず発生している。身の安全を確保するために強盗に巻き込まれた場合は、抵抗することなく犯人の要求に従うことが重要。
- （２） パラナ州は、コロンビア、ペルー、ボリビア等で生産された麻薬がパラグアイを経由して流入するルートとなっており、麻薬組織絡みの殺人事件が頻発している。人通りの少ない場所への立ち入りは避けるなど周辺の治安情報を事前に収集した上で慎重に行動することが望ましい。
- （３） クリチバ市内においては、銀行で現金を引き出した者を狙った強盗が頻発しているため、必要以上の現金を引き出さない等の注意が必要。

３ 犯罪事例（令和８年度第２四半期）

- （１） ２０２６年７月８日昼過ぎ、クリチバ市セントロ地区のカルロス・ゴメス広場(Praca Carlos Gomes) 及びペドロ・イヴォ通り (Rua Pedro Ivo) 付近において発砲事件が発生し、３人が銃撃を受けて負傷した。報道によると、負傷者３人のうち２人は腕及び胸部を負傷し、病院に搬送された。うち１人は、犯人の標的とみられており、チラデンテス広場 (Praca Tiradentes) まで逃走した後、警察に救助された。